

報道関係者各位
プレスリリース

★速報★ AsMama、総務省「ICT地域活性化大賞2017」 大賞/総務大臣賞を受賞！！ 本日、2018年2月16日総務省より発表

子供の送迎や託児を顔見知り同士で共助する仕組み「子育てシェア」を運営する株式会社 AsMama(本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：甲田恵子、以下、「当社」)は、2017年10月に総務省が募集した、ICT(情報通信技術)を活用して、地方が抱える様々な課題を解決し、自律的な創意・工夫に基づく ICT 利活用を行っている地方公共団体、地域団体、民間企業等を表彰する「ICT地域活性化大賞2017」にて大賞(総務大臣賞)を受賞しました。

《「ICT 地域活性化大賞」概要》

地域が抱える様々な課題(人口減少、少子高齢化、地域経済の衰退、医師不足、災害対応等)を解決し、地域活性化に資するため、それぞれの地域において自律的な創意・工夫に基づいて、ICT(情報通信技術)を活用した様々な優れた取組がなされています。

これらの取組の中で、特に、全国的な横展開が見込まれる事例、分野横断的な事例、地域間の広域連携が見込まれる事例を広く募集し、表彰が行われました。

※総務省発表より引用。詳しくはこちら↓をご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000157.html

《表彰内容》 ICTを活用した市民協働で多様な子育てニーズと地域人材活用を両立

【株式会社 AsMama(本社：神奈川県横浜市)】<奈良県生駒市、秋田県湯沢市 他>

本表彰を受賞した事例については、今後、総務省のサポートの元、様々な施策を通じて当該事例の全国各地域への横展開・普及が図られることになっております。

今回の受賞を受け、地域が抱える様々な課題を解決するための ICT を活用した「21 世紀の共助」の構築に向けて、より一層邁進して参ります。

===== <子育てシェア・当社情報> =====

■ 子育てシェア <https://kosodate-share.asmama.jp/>

顔見知り同士が子供の送迎や預かりを気兼ねなく頼り合えるオンラインサービス！

【5つのポイント】

1. 顔見知り同士が繋がり、子どもの送迎や託児を頼りあうネットを活用した仕組み
2. 登録料・手数料無料。いつでもどこでも誰でも PC または携帯ひとつで登録、利用可能
3. 万一の事故には全支援者に最高 5 千万円までの賠償責任保険適用(日本初)
4. 子育てシェア登録者数 53,586 人、解決済案件数 18,252 件(2018年1月末日時点)
5. 預ける一方でも使いやすい謝礼ルールを設定。1 時間 500 円～700 円のワンコインから利用可能

■ 株式会社 AsMama(アズママ)について <http://asmama.jp/>

全国において、顔が見える地域交流の場を創出しながら、顔見知り同士が頼り・頼られるオンラインの仕組み「子育てシェア」(登録料・手数料無料、全支援者に保険適用)を運営。顔見知りのネットワークのほか、AsMama が研修、認定を行う地域の共助サポーターである「ママサポ」も活用し、地域で知人・友人の輪を広げながら様々な支援ニーズに対応。子育てシェア会員は、全国で累計 5 万 3 千人超(2018年1月末日時点)。

◆◆◆ 本件に関するお問い合わせ ◆◆◆

Email: info@asmama.co.jp / TEL: 045-263-6433 / FAX: 045-330-5604

株式会社 AsMama (アズママ) 広報担当：井上まき